

各部の名称と機能

各キーの機能説明

1 表示部
2 電源スイッチ
3 送信機
4 受信機
5 マイク部
6 スピーカー部

1【PTT】送信キー
送信するときを押します。離すと待ち受け状態になります。

2【▲】【▼】キー
【▲】：チャンネル番号が上がります。
【▼】：チャンネル番号が下がります。
● メニューのオートチャンネルセレクトキー設定「SCn」が「on」に設定されているときは、1 秒以上押すとオートチャンネルセレクトを開始します。

3 音量つまみ
右に回す：音量を大きくします。
左に回す：音量を小さくします。

4【0】キー
押す(0.5 秒以上)ごとに電源が入ったり / 切れたりします。

5【MENU】キー
■ 押すとグループ番号設定を表示します。
■ 押しながら電源を入れたとき、メニューを表示します。
■ 押し続けるとキーロック機能が働きます。

表示部のアイコン説明

表示	説明
	電池の残量(めやす)を表示します。
	受信中の電波状態を表示します。<電波メーター>
	キーロック機能が働いているときに表示します。
	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
	送信中に表示します。<送信アイコン>
	受信中に表示します。<受信アイコン>
	PTT ホールドが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

操作のしかた

通信操作

1【0】を押す(0.5秒以上)
電源が入り、チャンネル番号が表示されます。

2 音量つまみを半分ぐらい右に回す

3【▲】【▼】を押して通信するチャンネル番号に切り替える
【▲】を押すとチャンネル番号が上がります。
【▼】を押すとチャンネル番号が下がります。

チャンネル番号

【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が切り替わります。

9Hチャンネル機と通信する場合
h1 ～ h9 に合わせます。

11チャンネル機と通信する場合
1 ～ 11 に合わせます。

4【PTT】を押しながら話す
<送信アイコン>が点灯し、送信状態になります。

(点灯)

マイク部から口を 5cm ぐらい離してお話してください。

5 話し終わったら、【PTT】から指を離す
待ち受け状態になります。
受信するとき<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。

(点灯) (点灯)

音量つまみを回し好みの音量に調整してください。
<電波メーター>のレベル表示について
電波状態のめやすを 3段階で表示します。

1: 1本点灯 (強電波) 2: 2本点灯 (中電波) 3: 3本点灯 (弱電波)

6 手順4と5の操作を繰り返して、通信する
トランシーバーを使用しないときは【0】を押し(0.5 秒以上) 電源を切ります。

- 設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
- トランシーバー間の距離が近い(10m 以内)と「h7」と「1」、 「h8」と「2」、 「h9」と「3」のチャンネル画面で混信をおこす場合があります。多数のグループが混信で通信する場合は、同チャンネル(h1)～h9 または 1～11 チャンネル) 内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

通信時間の制限

本機の1回の通信時間は、送信・受信を合わせて3分間です。通信終了の30秒前になると、表示部の数字が減速しながらカウントダウンを始めます。10秒前になると「1」として半音が鳴り、3分を経過すると送信禁止音(ブー)とともに送信を停止し、待ち受け状態に戻ります。続けて通信するとき、送信停止 2 秒後に【PTT】を押して相手呼び出してください。

残り時間(点滅)

グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、と、混信がなくなって快適に話ができます。

1【MENU】を押す
グループ番号設定画面になります。

2【▲】または【▼】を押す
グループ番号が切り替わります。

設定範囲
OFF、1 ～ 38

- 【▲】または【▼】を押し続けると、押している間連続してグループ番号が切り替わります。

グループ番号(点滅)

3【MENU】を押す
または10秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。

- 他のグループが同じチャンネル番号を使用している場合、音声は聞こえなくても受信状態になり、<受信アイコン>と電波メーターが点灯します。このときに【PTT】を押しても「ブー」と鳴って送信できません。
- バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信するとき、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、他のグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅表示することがあります。

オートチャンネルセレクト

自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信可能になります。スキャン中に【PTT】を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定された送信になります。

- オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。
 - ◆ グループ番号の設定：1 ～ 38
 - ◆ オートチャンネルセレクトキー設定「on」「SCn」(本機の【▲】、【▼】を使用するとき)
 - ◆ リモートキー設定「on」「REm」(オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき)

本機の【▲】、【▼】を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの【2】を1秒以上押す「SCn」と表示され、スキャンを開始します。

グループ番号

2【PTT】を2～3秒押し続ける
空いているチャンネルで10 秒ほど停止します。停止中に【PTT】を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。
呼びかけが終わったら【PTT】から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくれるのを待ちます。

3 <受信アイコン>が消えたら、【PTT】を押して応答する
オートチャンネルセレクトを解除する

4 本機の【▲】、【▼】、【MENU】を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの【2】を押す
表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。

- 10秒以内に応答してください。10 秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。
 - ◆ オートチャンネルセレクト中にモニター機能を ON にするとスキャンが一時停止し、チャンネルをモニターできます。
 - ◆ グループ番号が「oFF」のときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。

モニター

電波が弱いときにスケルチ(雑音消去回路)を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。

モニターする

1【0】を押し、一度電源を切る

2【▼】を押しながら【0】を押す、電源を入れる
スケルチが開いて、<受信アイコン>と<電波メーター>が点灯します。

(点灯) (点灯)

- 信号を受信していないときは「ザー」という雑音ができます。音量レベルを調整するときのめやすにもできます。

モニターを解除する

3 電源を入れ直します。

- モニター機能を使用するとき、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、「ザー」というノイズを大きい音量で聞くに耳に障害を受けることがあります。

オプションのリモート対応マイクロホンを接続している場合は(リモコンキー設定「REm」を「on」に設定してください。)

1 オプションのリモート対応マイクロホンの【1】を押す
押している間スケルチが開きます。

コールトーン呼び出し

相手を電話の呼び出し音のような音(コールトーン)で呼び出すことができます。コールトーンは 6 種類から選択できます。また、4 種類のメロディートーンも選択できます。

本機のキーでコールトーン呼び出しをするとき

1【PTT】を押したまま【▲】を押す
押している間コールトーンが送信されます。

オプションのリモート対応マイクロホンのキーを押して、コールトーン呼び出しをするとき

- リモートキー設定「REm」を「on」に設定しておきます。

1 オプションのリモート対応マイクロホンの【3】を押す
押している間コールトーンが送信されます。

- 【PTT】を押したままリモート対応マイクロホンの【3】を押しても送信されません。

◆ キーロックが動作しているときもコールトーンを送信することができます。

キーロック

間違えてチャンネル番号やグループ番号を受えないように、キーをロックしおくことができます。

- キーロックに連動して表示を消すこともできます。([「チャンネル非表示設定」])

キーロックをする

1【MENU】を「キーロック長押し時間」で設定した時間以上押す
キーロックが動作します。キーロック中は「o」が点灯します。

(点灯)

キーロックを解除する

1【MENU】を設定した時間以上押す
キーロックが解除され、「o」が消灯します。

キーロック中でも以下のキー操作はできます。

- 【0】(電源入/切)
- 【▲】、【▼】、【0】(オールリセット)
- 【▼】、【0】(モニター)
- 【PTT】(送信)
- 【PTT】+【▲】(コールトーンセット)
- オプションのリモート対応マイクロホンの【1】(モニター)
- オプションのリモート対応マイクロホンの【3】(コールトーン送)

◆ キーロックに連動して表示を消すこともできます。([「チャンネル非表示設定」])

操作のしかた(続き)

メニュー

各機能の設定をします。

メニューの操作

1【0】を押し、一度電源を切る

2【MENU】を押しながら【0】を押し、電源を入れる
メニューの設定画面が表示され、設定項目が点滅します。

設定項目(点滅)

3【▲】または【▼】を押す
押すごとに設定項目が切り替わります。

4【MENU】を押す
設定値が点滅します。

5【▲】または【▼】を押す
設定値を選択します。

設定値(点滅)

6【MENU】を押す
設定値が確定して、設定項目選択に切り替わります。

7【MENU】を1秒以上押す
メニューが終了します。

- 【PTT】を押しても終了します。

設定項目一覧

表示	設定項目	設定値	初期値
bEP	ビーブ音	oFF/on	on
bty	バッテリー種別	AL/ni	AL
APo	オートパワーオフ	oFF/on	oFF
SCn	オートチャンネルセレクトキー(本機)	oFF/on	oFF
ti	送信禁止	oFF/on	oFF
Phd	PTT ホールド	oFF/on	oFF
Rrt	PTT ホールド自動復帰	oFF/on	oFF
Ctn	コールトーン音色	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10	1
SqL	スケルチレベル	oFF/1/2/3	2
Lld	ラウドネス	oFF/on	oFF
SAV	バッテリーセーブ	oFF/on	on
REm	リモートキー	oFF/on	oFF
LoC	キーロック長押し時間	1/2/3/4/5	1
C	チャンネル非表示	oFF/on/LoC	oFF
blt	バックライト動作	oFF/ACU/Any/on	ACt

ビーブ音設定

キーを操作したときに鳴る確認音をビーブ音といまいます。この機能を「oFF」に設定すると、このビーブ音を鳴らさないようにできます。

oFF

oFF ビーブ音は鳴りません。
on ビーブ音が鳴ります。

- ◆ 以下の警告音、予告音などはビーブ音を「oFF」に設定しても鳴ります。
 - 通信時間制限予告音
 - オートパワーオフ警告音
 - 送信禁止音
 - コールトーン
 - バッテリー減電圧警告音

バッテリー種別設定

使用する電池の種類を設定します。

AL ni

AL アルカリ乾電池を使用するとき
ni バッテリーパック URB-SN を使用するとき

- ◆ 設定値を選択するときは、使用する電池の種類に合った設定をしてください。誤った設定にすると、電池の残量表示が正しく表示されません。

オートパワーオフ設定

この機能を「on」に設定すると、1 時間 59 分の間キー操作をしない場合、電源を切り忘れたとみなして警告音を鳴らします。さらに同じ状態が1 分連続くと「APo」と点滅表示して自動で電源を切ります。トランシーバーの電源を切り忘れたときの、電池の消耗を防ぎます。

oFF オートパワーオフ機能は動作しません。
on オートパワーオフ機能が動作します。

◆ オートチャンネルセレクト中は、オートパワーオフ機能は動作しません。

オートチャンネルセレクトキー設定

この機能を「on」に設定すると、本機の【▲】、【▼】を1 秒以上押して、オートチャンネルセレクトができます。

oFF 本機の【▲】、【▼】ではオートチャンネルセレクトは動作しません。
on 本機の【▲】、【▼】でオートチャンネルセレクトが動作します。

送信禁止設定

【PTT】を押しても送信させない機能です。トランシーバーを受信専用で使用するときに設定します。

oFF 送信動作を許可します。
on 送信動作を禁止します。

PTTホールド設定

通話は送信するときは【PTT】キーを押し続けますが、本機能を「on」に設定すると、【PTT】キーを一度押せば【PTT】キーを離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】キーを押します。

oFF 【PTT】キーを押し続けると送信状態になり、【PTT】キーを離すと待ち受け状態になります。
on 【PTT】キーを押すと送信状態が継続され、再度【PTT】キーを押すと待ち受け状態になります。

- 「on」に設定すると、が表示され、送信中は点滅します。

PTTホールド自動復帰設定

【PTT】ホールドが「on」に設定されている場合、通信時間の制限により送信が終了しても、送信停止時間(2 秒)後に自動で送信を再開する機能です。

oFF 自動で送信は再開しません。
on 自動で送信を再開します。

- ◆ 送信停止時間経過後、使用チャンネルに受信信号がある場合は、送信は再開しません。
- ◆ 送信停止時間の間にキー操作があった場合は、送信は再開しません。
- ◆ PTT ホールド設定「Phd」が「oFF」のときは、PTT ホールド自動復帰は動作しません。

コールトーン音色設定

コールトーンとして送出する音色を変更できます。

1 ～ 6 コールトーン1 ～ 6
7 ～ 10 メロディートーン1 ～ 4

スケルチレベル設定

スケルチ(雑音消去回路)を開(解除)くするレベルを設定します。スケルチレベルを下げると強い電波でも受信しやすくなりますが、雑音(「ザー」という雑音)が多くなります。逆に、スケルチレベルを上げると雑音は少なくなります。強い電波が受信しなくなります。

oFF 常に受信状態になります(常時モニター)。
1/2/3 数値を下げると、弱い信号でも受信状態になります。数値を上げると、強い信号のみ受信状態になります。

◆ グループ番号を設定している場合は、「スケルチレベル」が「oFF」に設定されていても、グループ番号が一致する信号を受信しなければ、スケルチは解除されません。

ラウドネス設定

音量つまみを回して音量を大きくしても、相手の声が小さく聞こえたりしない場合は、ラウドネスを「on」にすると、本機のスピーカー音量がより大きくなります。

oFF ラウドネス機能は動作しません。
on ラウドネス機能が動作します。

グループ番号設定

● 「on」に設定すると、「LOUD」が表示されます。

バッテリーセーブ設定

電池の消耗を防ぐ機能です。信号を受信するか、キー操作するとバッテリーセーブは一時的に解除されます。

oFF バッテリーセーブ機能は動作しません。
on 待ち受け状態で約 5 分間キー操作がないと、バッテリーセーブ機能が働きます。

◆ バッテリーセーブ「on」設定時は、消費電力を抑える動作を繰り返しているため、受信音声の聴取が鈍くなる場合があります。音声の聴取りが鈍くなる場合は、「oFF」に設定してご使用ください。

- ◆ バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信するとき、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、他のグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅表示することがあります。
- ◆ モニター中やオートチャンネルセレクト中は、バッテリーセーブ機能は動作しません。

リモートキー設定

オプションのリモート対応マイクロホンのリモートキー【1】、【2】、【3】の動作を設定する機能です。

oFF マイクロホンのリモートキーは動作しません。
on マイクロホンのリモートキーが動作します。

- ◆ リモートキー設定が「on」のときは、以下の機能が動作します。
 - リモートキー【1】: モニター
 - リモートキー【2】: オートチャンネルセレクト
 - リモートキー【3】: コールトーン呼び出し

キーロック長押し時間設定

【MENU】を押してキーロックが動作 / 解除するまでの時間を設定できます。

1 ～ 5 1 秒 ～ 5 秒

チャンネル非表示設定

チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。

oFF on LoC

oFF チャンネルやグループ番号を表示します。
on チャンネルやグループ番号は表示しません。
LoC キーロック時にチャンネルやグループ番号を表示しません。

- この機能を「on」または「LoC」に設定している場合は、チャンネルを切り替えると、切り替えしたチャンネルを 2 秒間表示します。電源を入れたときも現在のチャンネルを 2 秒間表示します。

バックライト動作設定

表示部照明の点灯条件を設定します。

oFF Act Any on

oFF バックライトは常に点灯します。
Act 【PTT】以外のキーを操作したときにバックライトが 5 秒間点灯します。
Any キーを操作したときや信号を受信するとバックライトが 5 秒間点灯します。
on バックライトが常に点灯します。

リセット

リセットすると、設定されている内容は全てお買い上げ時の状態に戻ります。

1 一度電源を切る

2【▲】と【▼】を押しながら、【0】を押して電源を入れる
表示が全点灯します。

3【▲】、【▼】、【0】のいずれかのキーを離す
確認画面が表示されます。

4【PTT】を押す
設定がリセットされて初期値に戻り、待ち受け状態になります。

● 【PTT】以外のキーを押した場合は、リセットしないで待ち受け状態になります。